



2023年11月30日

日本鉄道労働組合連合会

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第19回総会 補選での当選を経て広田参議院議員が再加入!



JR連合は11月16日、JR連合の政策活動をはじめとする各種活動に賛同し連携する国会議員で構成された「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」の第19回総会を開催した。総会には榛葉賀津也会長や泉健太副会長、伴野豊副会長、小川淳也事務局長をはじめ、衆参40名超の国会議員が出席し、終了後は4年ぶりとなる懇親会も開催した。

今次総会では、過去に議員フォーラムの役員を務めていた、広田一氏(10月22日の参議院議員補欠選挙において当選)を再び本フォーラムに迎えることを確認し、衆参55名(衆34名、参21名)の新体制を発足した(左は挨拶する広田議員)。

事務局からは、人財不足を含むJR産業の現状を説明するとともに、物流業・建設業の「2024年問題」や持続可能な地域公共交通、カーボンニュートラルの実現に係る諸課題、組織課題等についても説明し、各議員に対して具体的な取り組みの展開における連携を要請した。議員側からもモーダルシフト支援等、複数の意見が出され、活発な質疑応答となった。最後に榛葉会長は、「課題解決に向け、各議員からもJR各社の横連携



にお力添えを頂きたい」と発言し、さらに伴野副会長は「政策課題の解決のみならず、あらためて組織課題の解決にも取り組んでいこう」と呼び掛け、総会を締め括った。

第29回地方議員団連絡会総会も同日に開催!

同16日、第29回地方議員団連絡会総会も開催し、代表幹事の中田利幸米子市議をはじめとする連絡会役員および各議員団会議の代表者が出席した。初当選の宇田川祐治杉並区議(JR東海ユニオン議員団)や坪田晋福岡県議(JR西労組議員団)など本年4月の統一地方選挙で当選を果たした議員も出席し、各単組役員・組合員らの支援に対する感謝の言葉を述べた。



今次総会では、当面する政策課題、とりわけ改正「地域交通法」に係る改正経過やJR連合の主張を説明のうえ、各議員に対して都道府県をはじめとする自治体訪問の取り組みや議会における発言等に係る連携を要請した。

最後に貨物鉄産労から連絡会幹事に藤枝隆博秋田市議の推薦があり、右表の通りに幹事新体制を確立し、新年度の活動をスタートさせた。

＜JR連合地方議員団連絡会役員＞		
代表幹事	中田利幸	米子市議会議員
幹事	菅原和忠	北海道議会議員
幹事	世古口新吾	前・伊勢市議会議員
幹事	山本悟史	香川県議会議員
幹事	松尾哲也	大牟田市議会議員
幹事	藤枝隆博	秋田市議会議員